

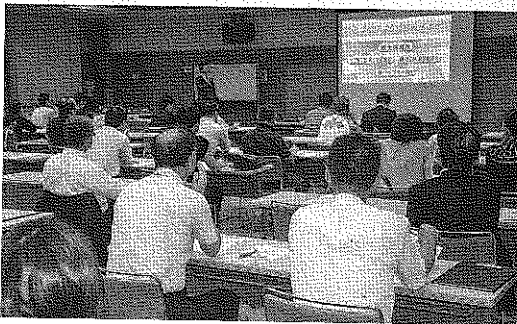
田 介護離職を防ぐために

飯

仕事との両立実現へ研修会

介護離職を防ぐために「働き方改革」から仕事と介護の両立を目指す研修会が21日夜、飯田市東栄町の飯田勤労者福祉センターであった。高齢化が進み、介護を必要とする人が増加する中で、介護のために離職せざるを得ない人が年間10万人ともいわれている。

研修会は県南信務政事務所が主催、連合長野飯田地域協議会が共催し、約90人が参加。社会保険労働問題点を考えた後、務士法人アンカートの山本卓代表社員を講師に、介護と仕事を両立させるための支援方法について、具体的なケースをもとに学んだ。



介護離職を防ぐための研修会

具体的な2つのケースについて、Dラマ編のDVを見て、約90人が参加。社会保険労働問題点を考えた後、務士法人アンカートの山本卓代表社員を講師に、介護と仕事を両立させるための支援方法について、具体的なケースをもとに学んだ。

の後、解説編のDV Dを見て仕事と介護の両立を実現するための事前の心構えを確認した。

いずれのケースも突然親の介護に直面し会社を辞めたり仕事を断念せざるを得ない事例。参加者は「他人事でなく、自分のこととして介護

の心構えが必要」「上司も部下が介護に直面することがあることを認識しておくべき」「親の現在の状況をしつかり把握しておく必要がある」などと問題点を語り合った。

最後に、介護に直面してもあわてず、あきらめずに仕事と

介護の両立を実現するためのポイントを次の通りまとめた。

- ①介護を自分だけで抱え込まない②勤務先の両立支援制度を知る③介護保険など支援サービスの基本を知る④親の話をし合う⑤家族などとも話し合う⑥自分の時間も大切にす。